

東証第1部 証券コード4323

開催日：2018年12月5日



Finding the right solution, just for you

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1. 業績ハイライト P - 0 3

2. JASTグループの概要 P - 0 6

3. JASTグループの特長 P - 0 8

4. 2019年3月期 第2四半期の業績分析 P - 1 8

5. 今後の計画・方針 P - 3 0

1. 業績ハイライト

1 - 1. 連結業績

		2017年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	前年比
売上高	(百万円)	6,226	6,984	8,024	114.9%
売上総利益	(百万円)	1,183 19.0%	1,381 19.8%	1,705 21.2%	123.5%
営業利益	(百万円)	24 0.4%	93 1.3%	263 3.3%	282.8%
経常利益	(百万円)	37 0.6%	118 1.7%	280 3.5%	237.3%
当期純利益	(百万円)	8 0.1%	60 0.9%	175 2.2%	291.7%
一株当たり当期純利益	(円)	1.61	11.55	33.45 0%	289.6%
総資産	(百万円)	9,471	10,306	13,116 163%	127.3%
純資産	(百万円)	5,294	5,696	6,246 78%	109.6%
自己資本比率	(%)	55.5	54.8	47.3	▲7.5
自己資本利益率	(%)	0.2	1.1	2.8	1.7
従業員数	(人)	889	931	982	51

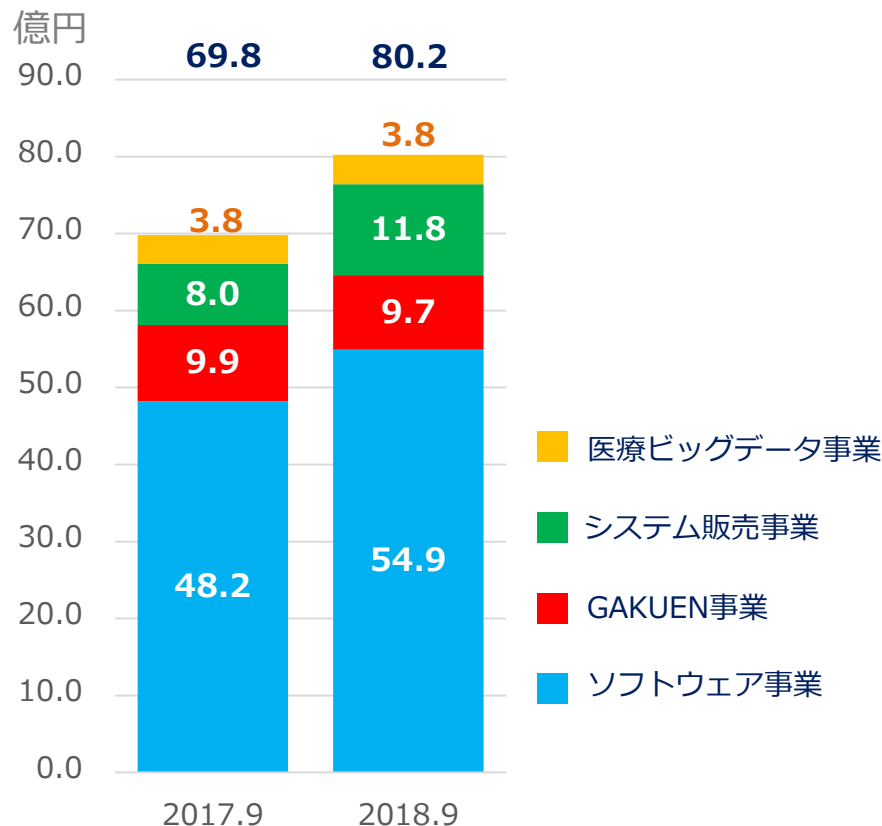
* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

売上高及び各利益指標において前年同期比で増収増益を達成

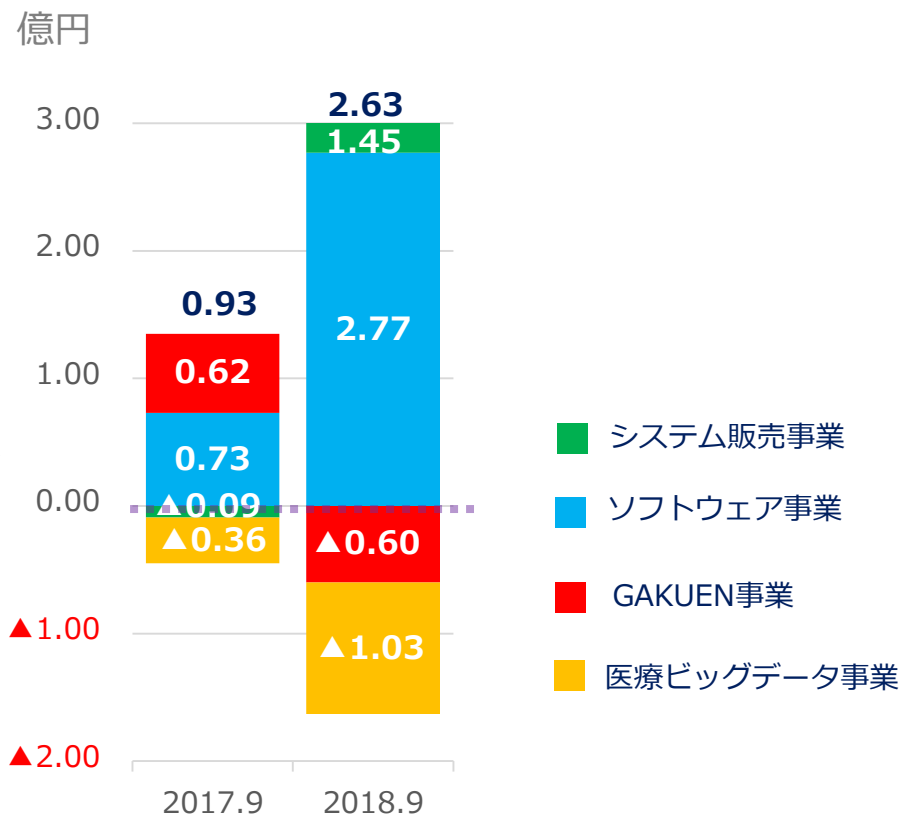
1. 業績ハイライト

1 - 2. 事業別ダイジェスト

売上高



営業利益



- ◆ソフトウェア事業 : 製造業/通信業/サービス・流通/教育機関 向け案件の業績好調を受けて増収増益
- ◆GAKUEN事業 : 導入支援/仕入販売/ EUCが増収の一方、収益性の高い大学向けPP（プログラムプロダクト）販売の減収により減益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件の拡大により増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : レセプト自動点検サービス及び分析・医療費通知サービスが増収の一方、組織増強等のコスト増先行により減益

1. 業績ハイライト

1 - 3. 最近のトピックス

Virtual Calibre グループを子会社化（2018年10月）

- * Virtual Calibreグループ3社（Virtual Calibre SDN. BHD. ・ Virtual Calibre MSC SDN. BHD. ・ Virtual Calibre Consulting SDN. BHD.）の株式を取得し、連結子会社化。
- * ASEAN全域へのビジネス基盤拡大、およびSAP事業拡大を目指す。

JAST Asia Pacific Co., Ltdを設立（2018年4月）

- * 当社の99.97%の出資によりタイに設立。成長著しい東南アジアでのビジネス拡大と拠点力の強化。
- * ASEAN地域のビジネス展開の中心(International Headquarters)として、現存の海外拠点との協調により、課題解決、さらなる事業の継続・発展を目指す。

GAKUEN事業

- * GAKUEN新バージョン「GAKUEN UNIVERSAL PASSPORT RX」の本番稼働開始（2018年7月）。
- * スマートフォン決済サービス「UNIPA(ユニパ) PAY」のサービス開始（2018年11月）。

注.2019.3期より「パッケージ事業」→「GAKUEN事業」に名称を変更

医療ビッグデータ事業

- * A I 技術を活用した産学共同研究（京都工芸繊維大学とS Gホールディングスグループ）を開始（2018年7月）。
- * 点検サービスに加え、分析・通知サービス、データヘルス計画コンサル等のサービス拡充により、5年間で売上10倍。

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証1部 略称JAST（ジャスト） 証券コード4323

設 立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2018年3月末現在〕
系 列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー28・29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階
代表者	代表取締役執行役員 平林 武昭

単位：百万円

2018年3月期の業績

	連結	単体
売上高	15,630	12,709
営業利益	741	653
経常利益	785	698
当期純利益	579	495
従業員数（人）	920	689

各種資格

- ◆ プライバシーマーク認定
- ◆ ISO9001 登録事業者
- ◆ ISO14001 登録事業者
- ◆ ISO27001 登録事業者

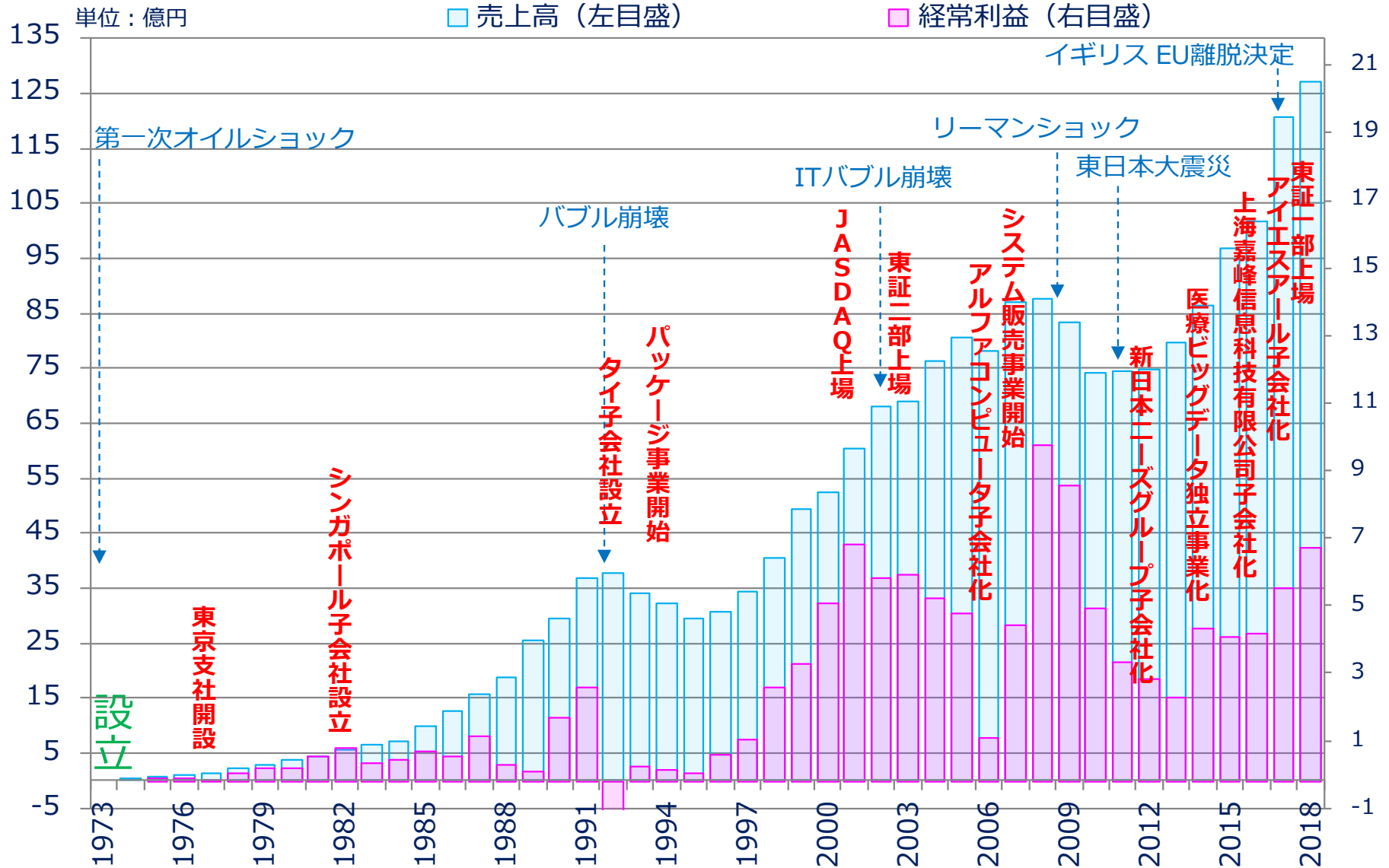


* 連結子会社12社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・マレーシア・中国〕

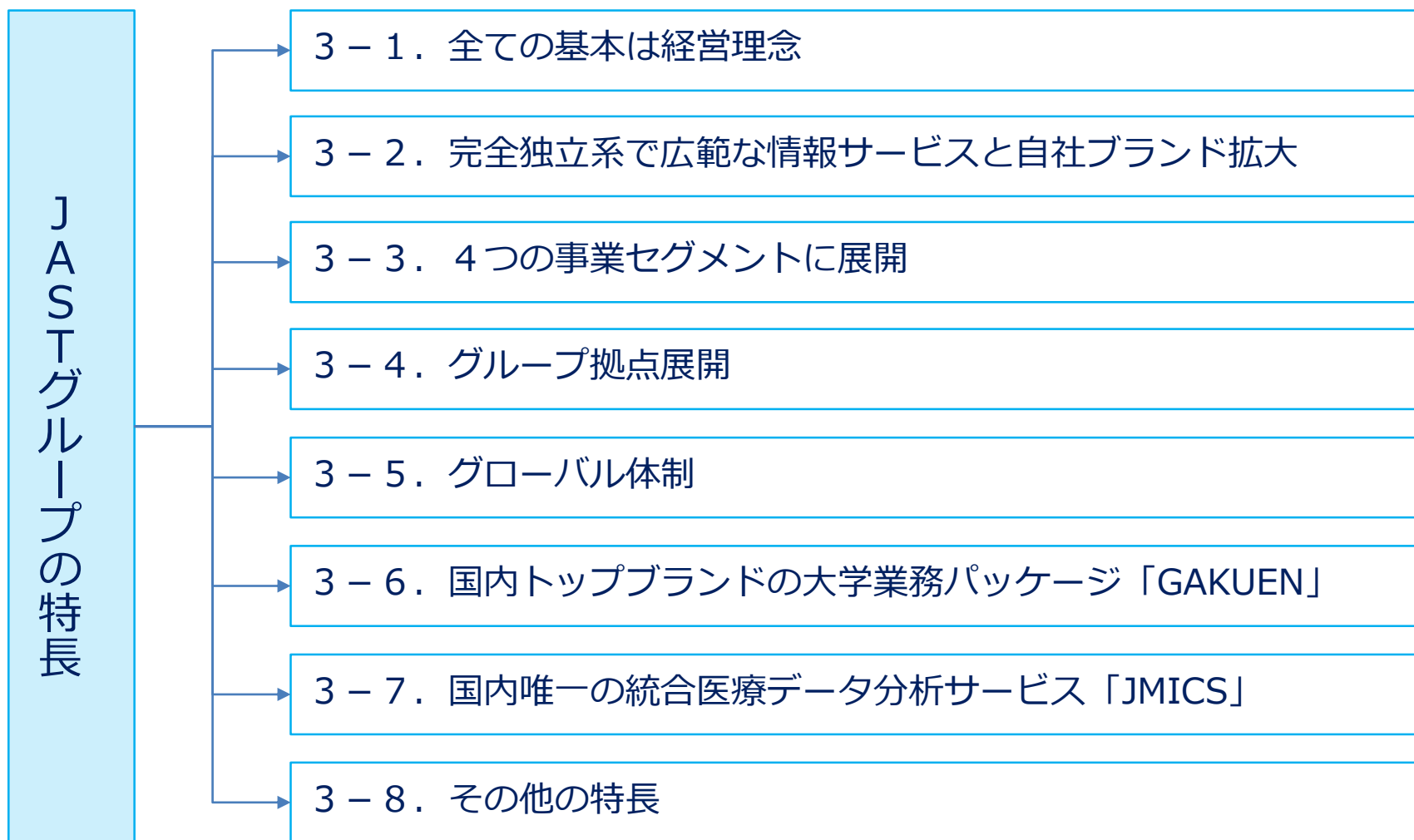
* 2018年9月末現在の従業員数（連結） 982名

2. JASTグループの概要

2-2. 単体業績の推移



3. JASTグループの特長



「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない完全独立系の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組むことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、お客様、株主、社員、社会がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「四方良し」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、安定的成長を実現することを目指しております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「人づくり」経営に徹することとしております。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスをご提供します

Sier
**ソフトウェア
事業**
ソフトウェアの
受託開発

・ **ビジネスアプリケーション**
各業界向けにシステムの提案から開発、運用、保守まで一貫したITサービス

・ **エンジニアリング
アプリケーション**

携帯電話やAV機器組込みシステム、CAD、構造解析、自動車設計、交通管制など通信・制御システム

・ **その他自社ブランドサービス（ソフトウェア事業）**

金融機関向けパッケージソリューション

地銀、信金、信組様向けCRM/SFAシステム「BankNeo」

BankNeo

**JAST
ブランド**
パッケージメーカー
GAKUEN
事業
大学経営ソフトウェア
パッケージ開発・販売

大学経営システムのトップブランド「GAKUEN」シリーズを中核とした、文教ITのトータルソリューション

BtoB販社
**システム販売
事業**
マルチベンダー
ITインフラの構築

文教・公共系マルチベンダーのITインフラ構築、大型サイネージ端末関連ソリューションなど、独自のサービス

医療BI
**医療
ビッグデータ
事業**
医療情報データの点検
分析及び関連サービス

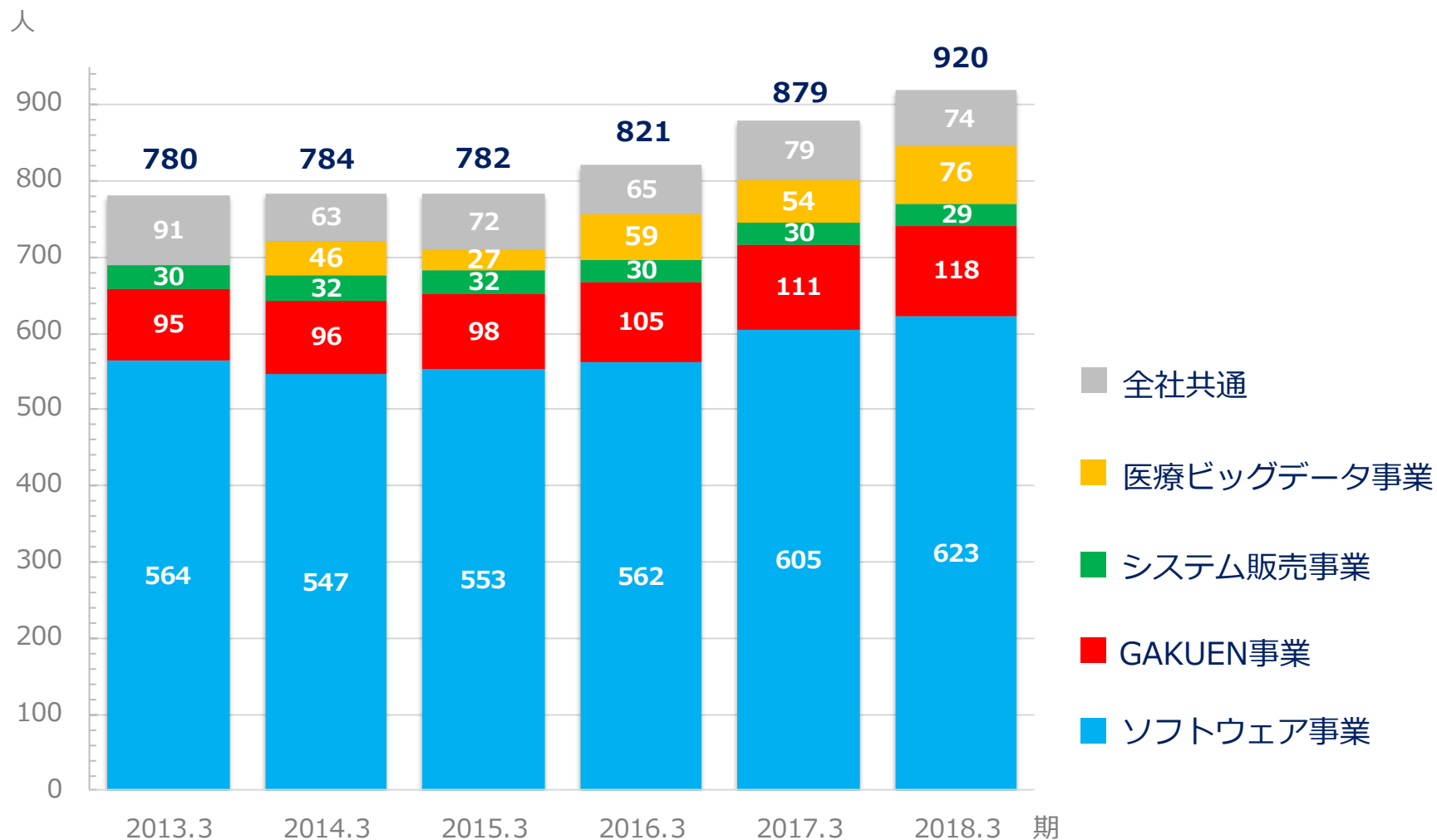
レセプト自動点検、ジェネリック通知、各種分析サービス、データヘルス計画、二次点検業者向けシステム提供など医療関連のビッグデータソリューション

スマートデバイス

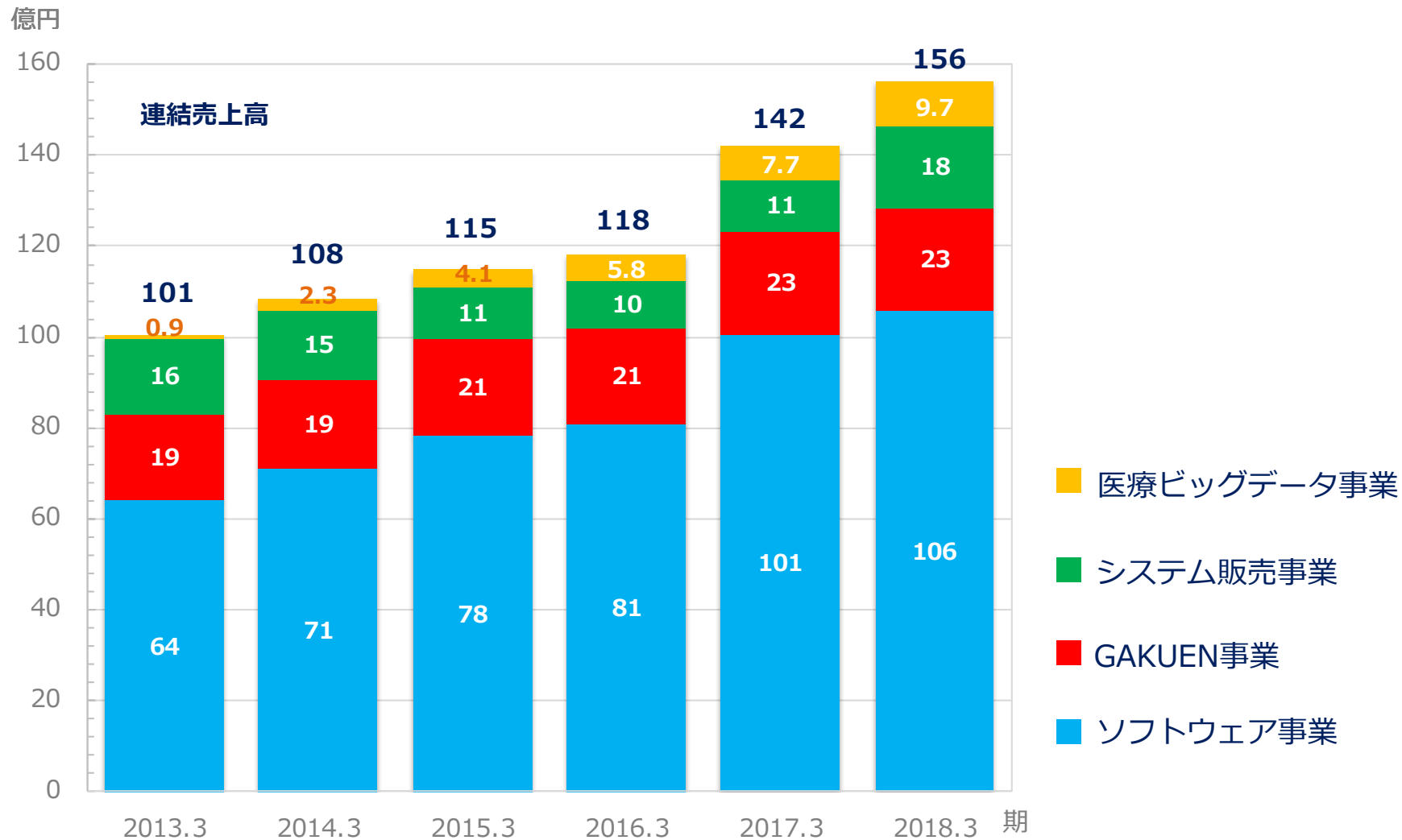
観光アプリ「京都禅寺巡り」他、スマホアプリ
ビジネス向け、スマートデバイスを活用したトータルソリューション



従業員数（期末）

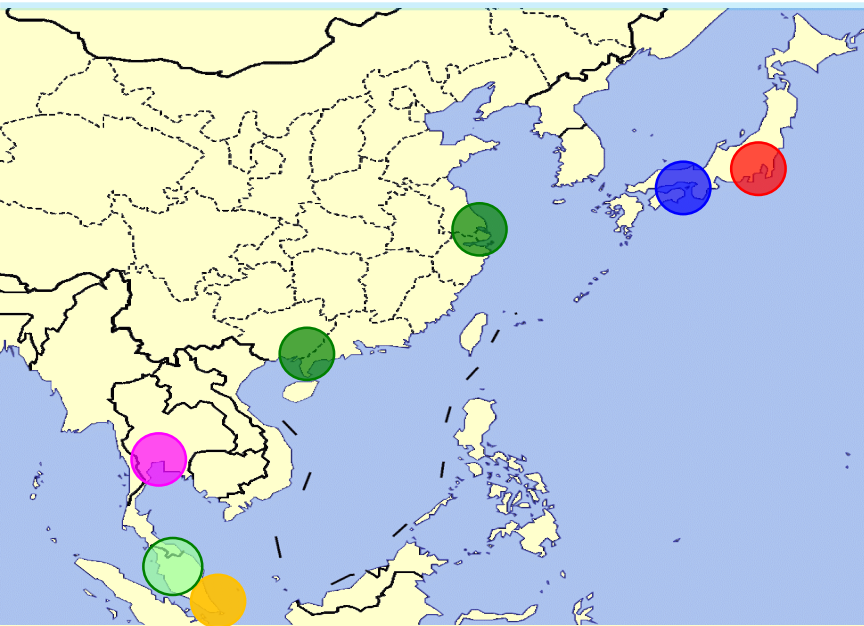


売上高



3. JASTグループの特長

3-4. グループ拠点展開



大阪本社

大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー28・29階



東京本社

東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階



アルファコンピュータ株式会社

東京都品川区 ★マルチベンダITインフラ設計（システム販売）



株式会社アイエスアール

東京都品川区 ★受託開発、パッケージ開発・販売



株式会社新日本ニーズ

大阪市 ★地域密着型受託開発



SafeNeeds株式会社

大阪市 ★受託開発、中国オフショア案件のブリッジ会社



JAST TECHNIQUES PTE. LTD.

シンガポール ★現地日系企業向け開発



JASTEC(THAILAND) CO., LTD.

タイ バンコク ★現地日系企業向け開発



JAST ASIA PACIFIC CO., LTD.

タイ バンコク ★ASEAN地域でのJASTブランド展開



桂林安信軟件有限公司

中国広西チワン族自治区桂林市 ★オフショア開発拠点



上海嘉峰信息科技有限公司

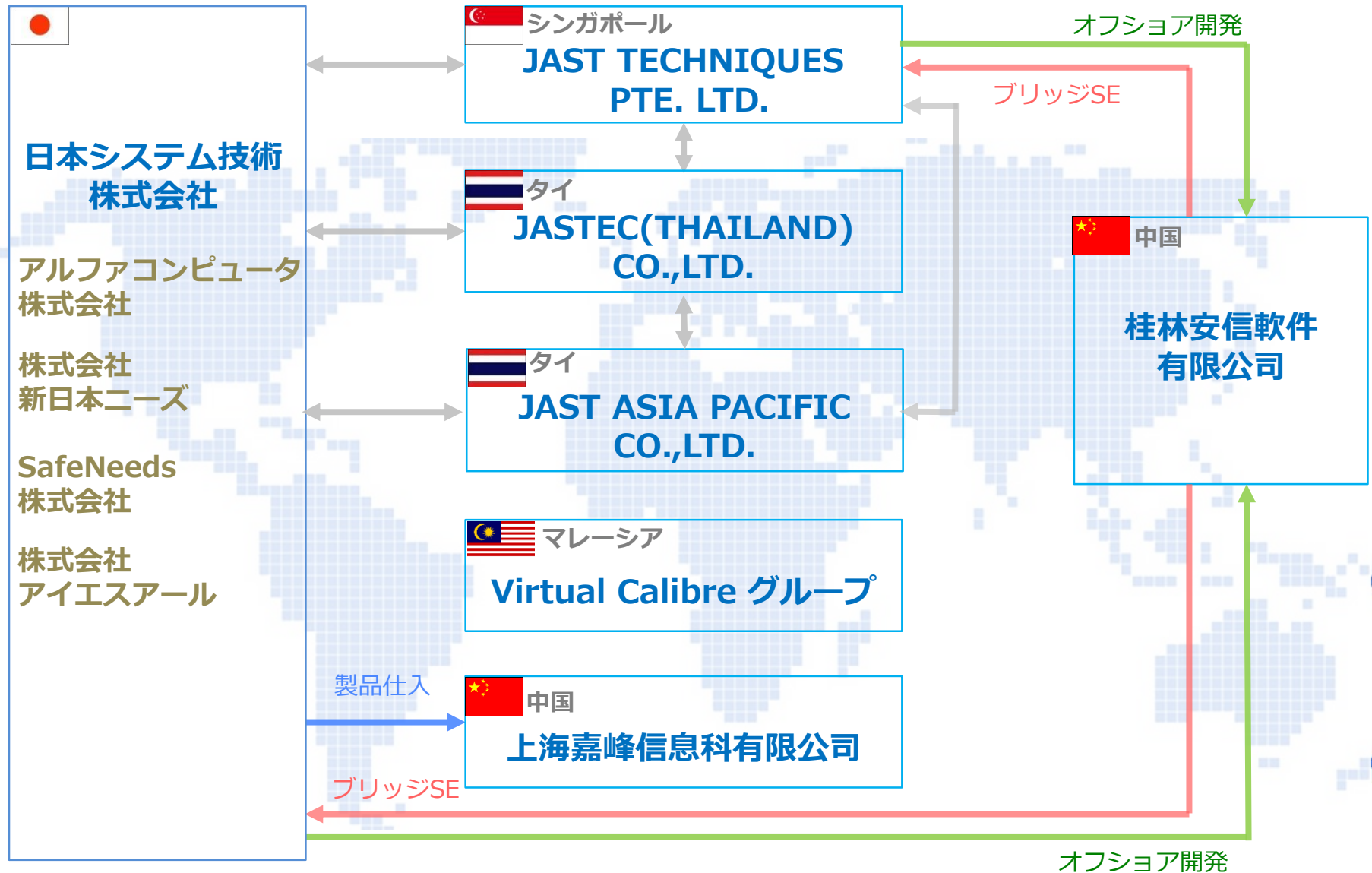
中国上海市 ★GAKUEN 中国販売拠点



Virtual Calibre グループ (3社)

マレーシア クアラルンプール近郊 ★SAP事業展開 ★ASEAN拡販拠点

グループ各社間の取引と情報交換を活性化



3. JASTグループの特長

3-6. 国内トップブランドの大学業務パッケージ「GAKUEN」

導入実績

大学：276校
短大：87校
他：18校
合計：381校

広島経済大学
比治山大学
近畿大学工学部
広島文教女子大学
ノートルダム清心女子大学
山口県立大学（公）
岡山県立大学（公）
環太平洋大学

近畿大学
甲南大学
追手門学院大学
阪南大学
兵庫県立大学（公）
大手前大学
神戸女子大学
プール学院大学
梅花女子大学
神戸女学院大学
大阪音楽大学
京都光華女子大学
薫英学園
産業技術短期大学
千里金蘭大学
平安女学院大学

東北福祉大学
宮城学院女子大学
東北工業大学
岩手県立大学（公）
山形県立保健医療大学（公）
東北芸術工科大学
日本大学工学部

新潟医療福祉大学
新潟薬科大学
北陸大学
福井大学(国)

北海道教育大学（国）
公立はこだて未来大学
酪農学園大学

東京理科大学
成蹊大学
慶應義塾大学
東京電機大学
桜美林大学
日本大学薬学部
文教大学
玉川大学
日本女子大学
武蔵大学
日本体育大学
共立女子大学
フェリス学院大学

聖カタリナ大学

福岡工業大学
南九州大学
近畿大学産業理工学部

日本文理大学
西南女学院大学
九州国際大学

名城大学
愛知教育大学（国）
四日市大学
愛知大学

三重大学(国)
聖隷クリスティー大学
名古屋外国語大学
日本大学国際関係学部

導入実績381校

導入実績：2018年11月16日現在

JMICS JAST Medical Insurance Checking Service

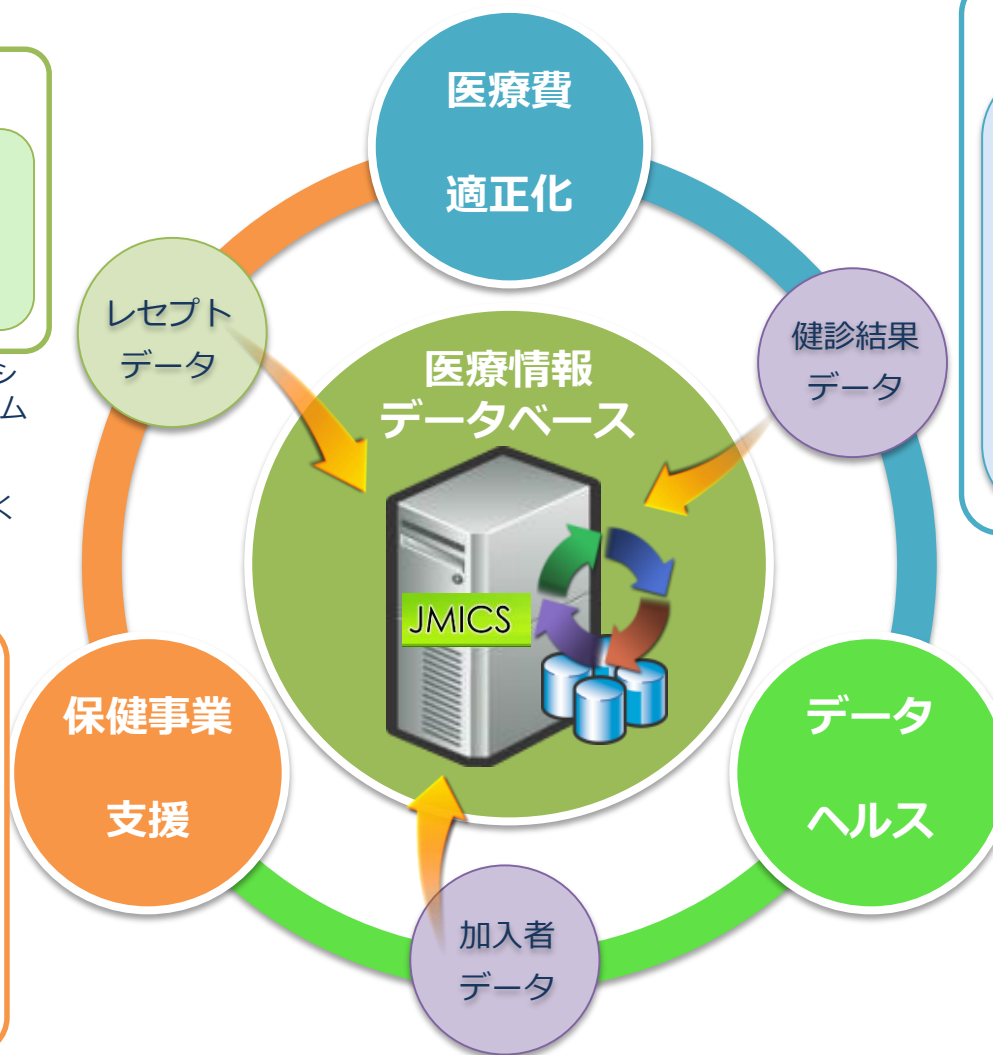
点検サービス

- ・レセプト内容点検
- ・アウトソーシング
- ・ユーザークラウド
- ・ビジネスクラウド
- ・海外療養費点検
- ・柔整点検

レセプト点検には、アウトソーシングの他に、JASTの点検システムを保険者様にてご利用いただく「ユーザークラウド」と、点検事業者様にてご利用いただく「ビジネスクラウド」があります。

医療費適正化サービス

- ・ジェネリック促進通知
- ・花粉症通知
- ・統合通知
- ・頻回、重複受診者対応
- ・第三者求償対象者対応
- ・時間外加算者対応
- ・医薬品重複投与者対応



保健事業支援サービス

- ・リスカルクン
(保険事業支援ツール)
- ・レセプト/健診データ分析
- ・ハイリスク者階層化分析
- ・保健事業の実施効果分析
- ・事業所別分析レポート
- ・健康白書
- ・加入者向け健康レポート
- ・受診勧奨通知
- ・保健師・管理栄養士による
各種保健指導、セミナー
健康教室の開催

保健事業支援ツールの提供、健康白書や事業所別分析レポート等の作成、医療費や健診データ分析、受診勧奨通知、保健師や管理栄養士による支援サービスなど、データヘルスにおけるPDCAサイクルを廻すための各種サービスの提供が可能です。

事務効率化サービス

- ・健診事務代行
- ・WEB検認
- ・各種事務代行

長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒中心の採用と長期的な人材育成
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
低コスト体質

特徴的な営業戦術

- * ソフトウェア事業（受託開発）：
 - ・ S E自らリピート案件発掘
 - ・ 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * その他事業：
 - ・ 代理店、教育機関、官公庁、健保組合等
 - 異種カスタマ層へのマーケティング展開

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化し原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2019年3月期 第2四半期の業績分析

4－1. 連結業績の推移

4－5. 研究開発費

4－2. 事業セグメント別業績

4－6. キャッシュフローの推移

4－3. カテゴリ別業績

4－7. 株価の推移と流動施策

4－4. 貸借対照表の推移

4－8. 日経平均株価との相関

4. 2019年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 1. 連結業績の推移

単位：百万円

			2017年3月			2018年3月			2019年3月			前年比	
			上期	下期		上期	下期		上期	下期	通期 予想	上期	下期
売上高			6,226	7,997	14,223	6,984	8,646	15,630	8,024		15,765	114.9%	
売上原価			5,043	6,244	11,287	5,602	6,682	12,284	6,319			112.8%	
			81.0%	78.1%	79.4%	80.2%	77.3%	78.6%	78.8%				
売上総利益			1,183	1,752	2,935	1,381	1,964	3,345	1,705			123.5%	
			19.0%	21.9%	20.6%	19.8%	22.7%	21.4%	21.2%				
販売費及び一般管理費			1,159	1,205	2,364	1,288	1,315	2,603	1,442			112.0%	
			18.6%	15.1%	16.6%	18.4%	15.2%	16.7%	18.0%				
研究開発費			143	189	332	196	262	458	231			117.9%	
営業利益			24	547	571	93	648	741	263		865	282.8%	
			0.4%	6.8%	4.0%	1.3%	7.5%	4.7%	3.3%		5.5%		
経常利益			37	586	623	118	667	785	280		875	237.3%	
			0.6%	7.3%	4.4%	1.7%	7.7%	5.0%	3.5%		5.6%		
当期純利益			8	402	410	60	519	579	175		585	291.7%	
			0.1%	5.0%	2.9%	0.9%	6.0%	3.7%	2.2%		3.7%		
包括利益			-	-	430	-	-	637	-			-	

利益が下期に集中する傾向にあり、特に第4四半期（末）の業績貢献度が高い

4. 2019年3月期 第2四半期の業績分析

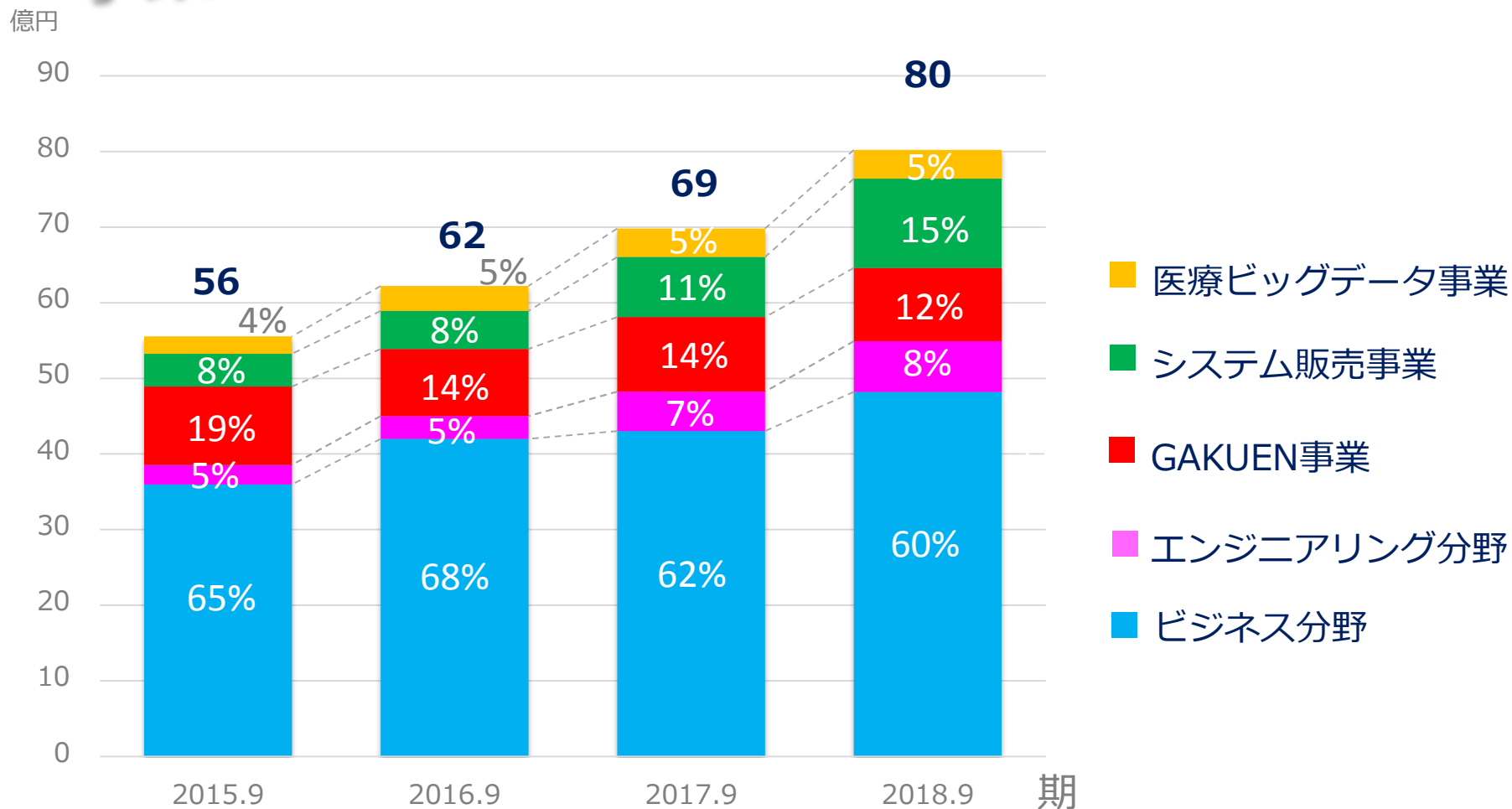
4-2. 事業セグメント別業績

単位：百万円

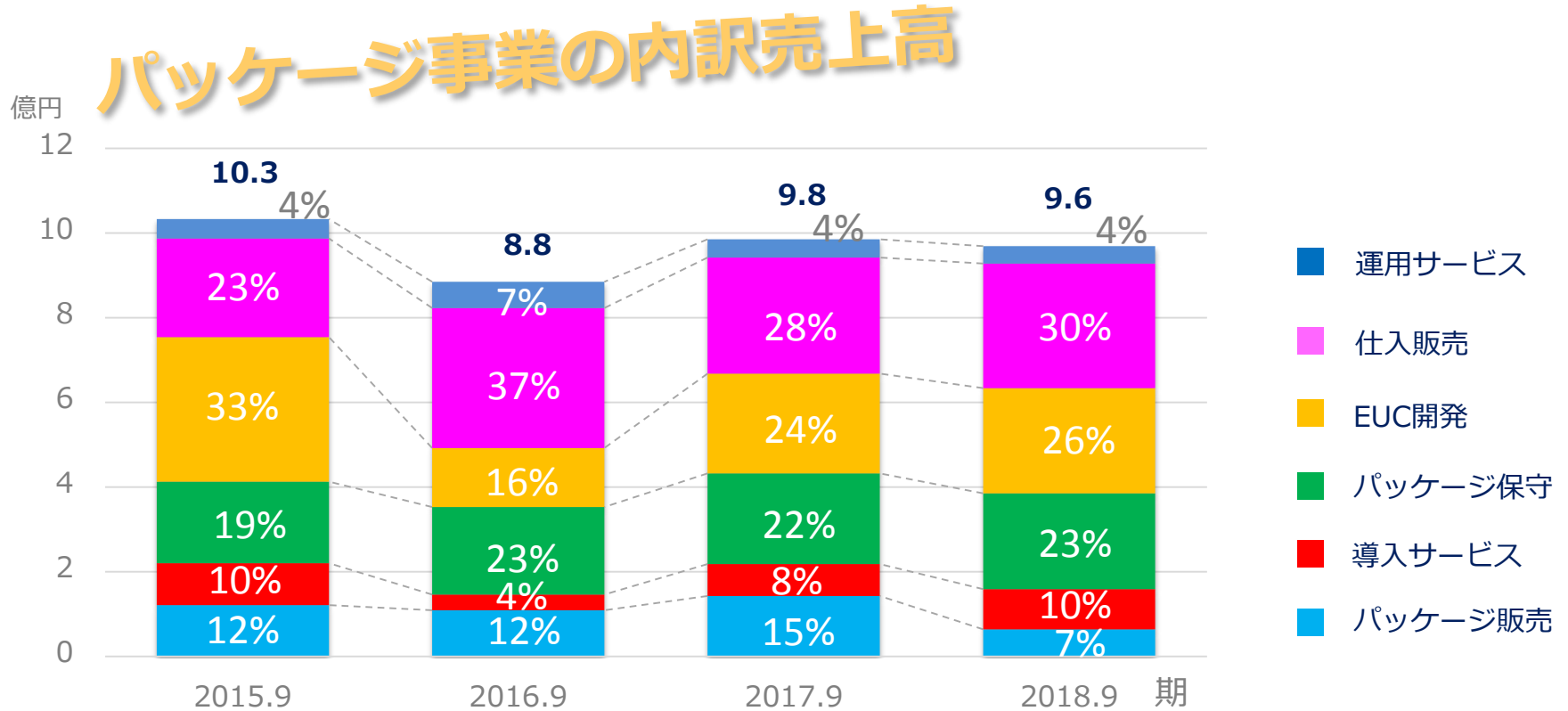
		2017年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	前年比	
		構成	構成	構成	差額	比率
JASTグループ	売上高	6,226	6,984	8,024	1,040	114.9%
	営業利益	24	93	263	170	282.8%
ソフトウェア事業	売上高	4,501 72.3%	4,823 69.1%	5,492 68.4%	669	113.9%
	営業利益	122	73	277	204	379.5%
GAKUEN事業	売上高	887 14.2%	988 14.1%	969 12.1%	▲19	98.1%
	営業利益	▲45	62	▲60	▲122	—
システム販売事業	売上高	504 8.1%	795 11.4%	1,180 14.7%	385	148.4%
	営業利益	▲8	▲9	145	154	—
医療ビッグデータ事業	売上高	333 5.3%	376 5.4%	382 4.8%	6	101.6%
	営業利益	▲43	▲36	▲103	▲67	—

- ◆ソフトウェア事業 : 製造業/通信業/サービス・流通/教育機関 向け案件の業績好調を受けて増収増益
- ◆GAKUEN事業 : 導入支援/仕入販売/ EUCが増収の一方、収益性の高い大学向けPP（プログラムプロダクト）販売の減収により減益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件の拡大により増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : レセプト自動点検サービス及び分析・医療費通知サービスが増収の一方、組織増強等のコスト増先行により減益

事業セグメント別・分野別売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

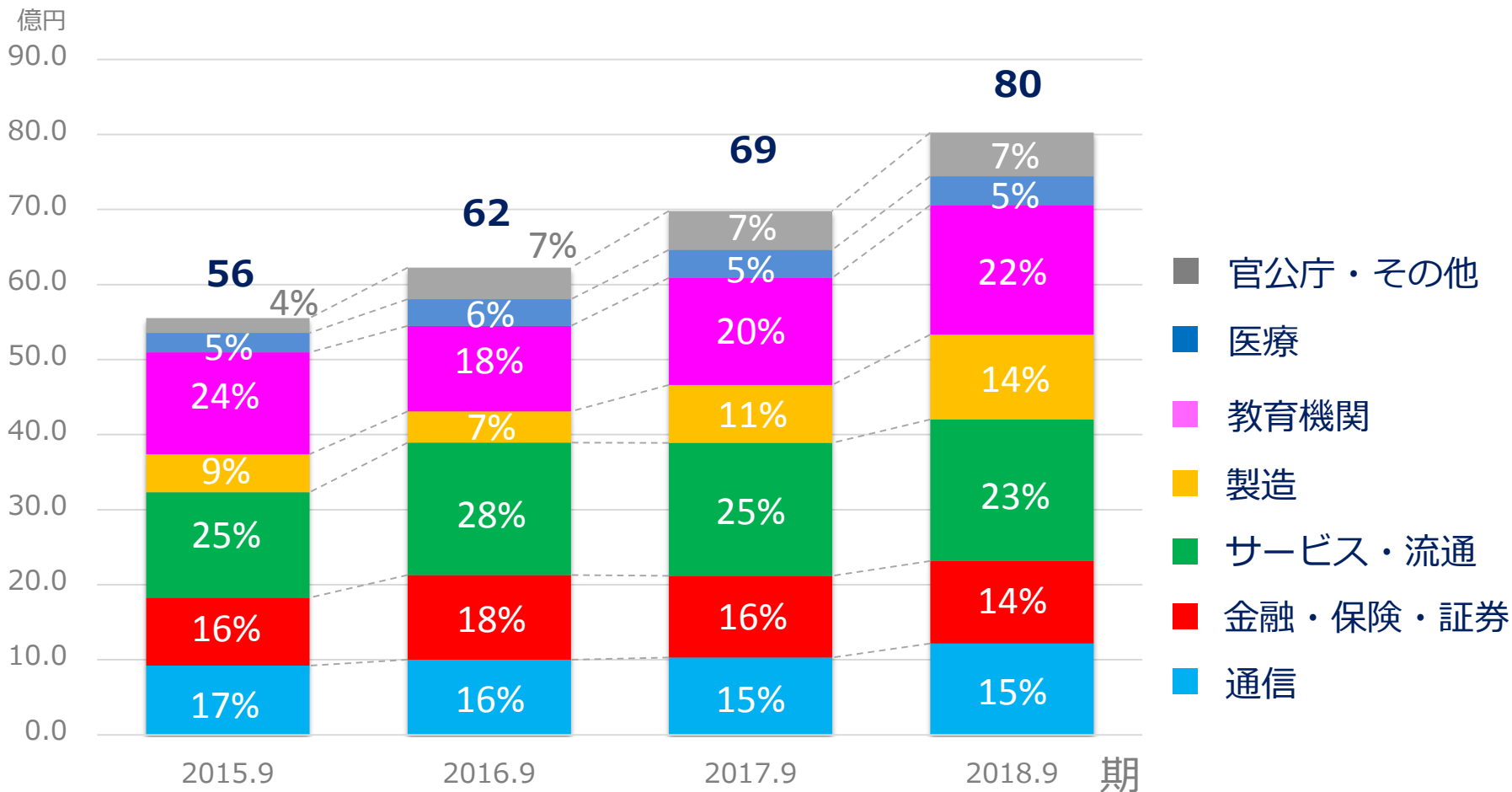


* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入サービス	パッケージの導入支援サービス収益
パッケージ保守	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
仕入販売	ハードウェア及び他社開発ソフトウェアの仕入販売収益
運用サービス	システムの運用支援に関する収益

エンドユーザー業種別売上高

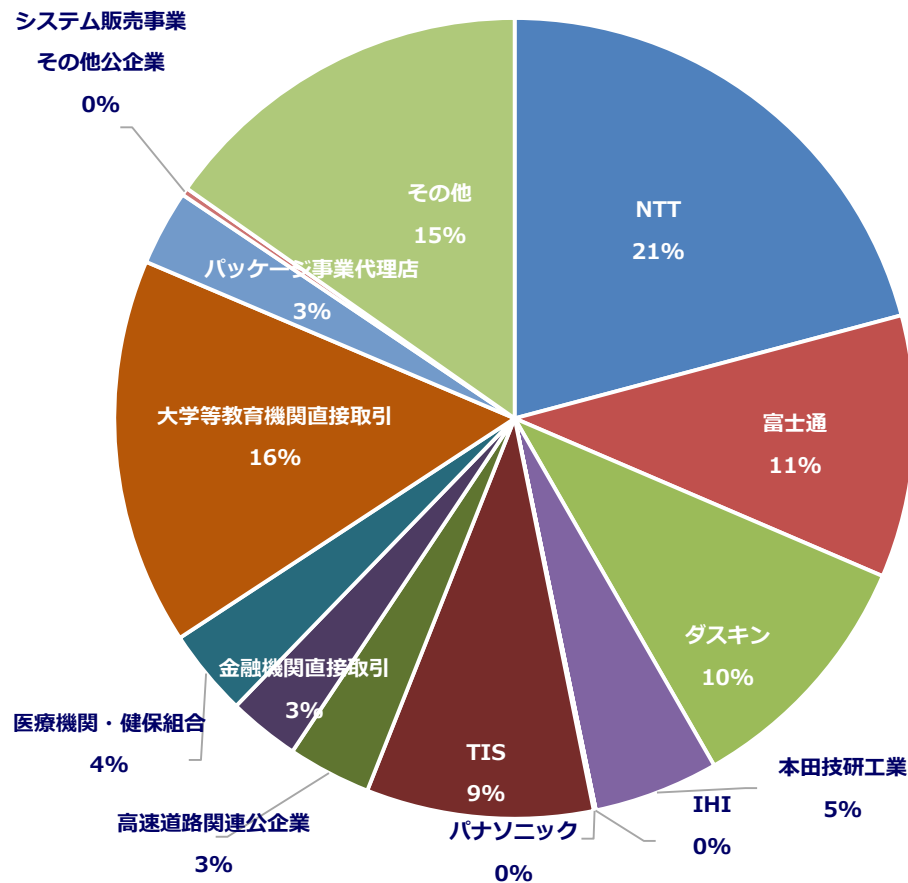
連結売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

顧客グループ別売上高

顧客	2017.9	2018.9
NTT (24年)	21.9%	20.9%
富士通 (42年)	9.9%	10.6%
ダスキン (30年)	6.8%	10.3%
本田技研工業 (35年)	4.2%	5.1%
IHI (37年)	0.1%	0.0%
パナソニック (37年)	0.1%	0.1%
上記6社 計	42.8%	46.8%
TIS	5.8%	9.2%
高速道路関連公企業	5.5%	3.4%
金融機関直接取引	5.0%	2.9%
医療機関・健保組合	4.2%	3.5%
大学等教育機関直接取引	13.8%	15.6%
パッケージ事業代理店	3.2%	3.0%
システム販売事業その他公企業	0.5%	0.3%
その他	19.2%	15.3%
合計	100.0%	100.0%



4. 2019年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 4. 貸借対照表の推移

単位：百万円

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2018年 9月期	前期末比	
					差額	比率
資産	9,019	10,281	12,308	13,116	808	106.6%
流動資産	6,405	7,480	9,440	8,692	▲748	92.1%
有形固定資産	524	599	523	559	36	106.9%
無形固定資産	137	158	124	104	▲20	83.9%
投資その他の資産	1,951	2,043	2,220	3,760	1,540	169.4%
負債純資産合計	9,019	10,281	12,308	13,116	808	106.6%
負債	3,571	4,540	6,062	6,869	807	113.3%
流動負債	2,265	3,078	4,564	5,405	841	118.4%
固定負債	1,306	1,461	1,498	1,463	▲35	97.7%
純資産	5,448	5,741	6,246	6,246	0	100.0%
株主資本	5,269	5,544	5,992	6,021	29	100.5%
資本金	1,076	1,076	1,076	1,076	0	100.0%
資本剰余金	998	994	994	994	0	100.0%
利益剰余金	3,460	3,740	4,188	4,216	28	100.7%
自己株式	▲266	▲266	▲266	▲266	0	100.0%
その他の包括利益累計額	127	147	207	186	▲21	89.9%
新株予約権	—	—	—	—	—	—
非支配株主持分	51	48	45	38	▲7	84.4%

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	前年比	
					差額	比率
研究開発費の合計	269	346	332	458	126	138%
ソフトウェア事業	62	54	0	64	64	—
GAKUEN事業	206	239	286	274	-12	96%
医療ビッグデータ事業	0	52	45	98	53	218%
その他	0	0	0	20	20	—

金融機関向け
次世代製品の開発

次世代製品の開発
及び
GAKUEN中国版の開発

点検性能向上
及び
サービス拡大

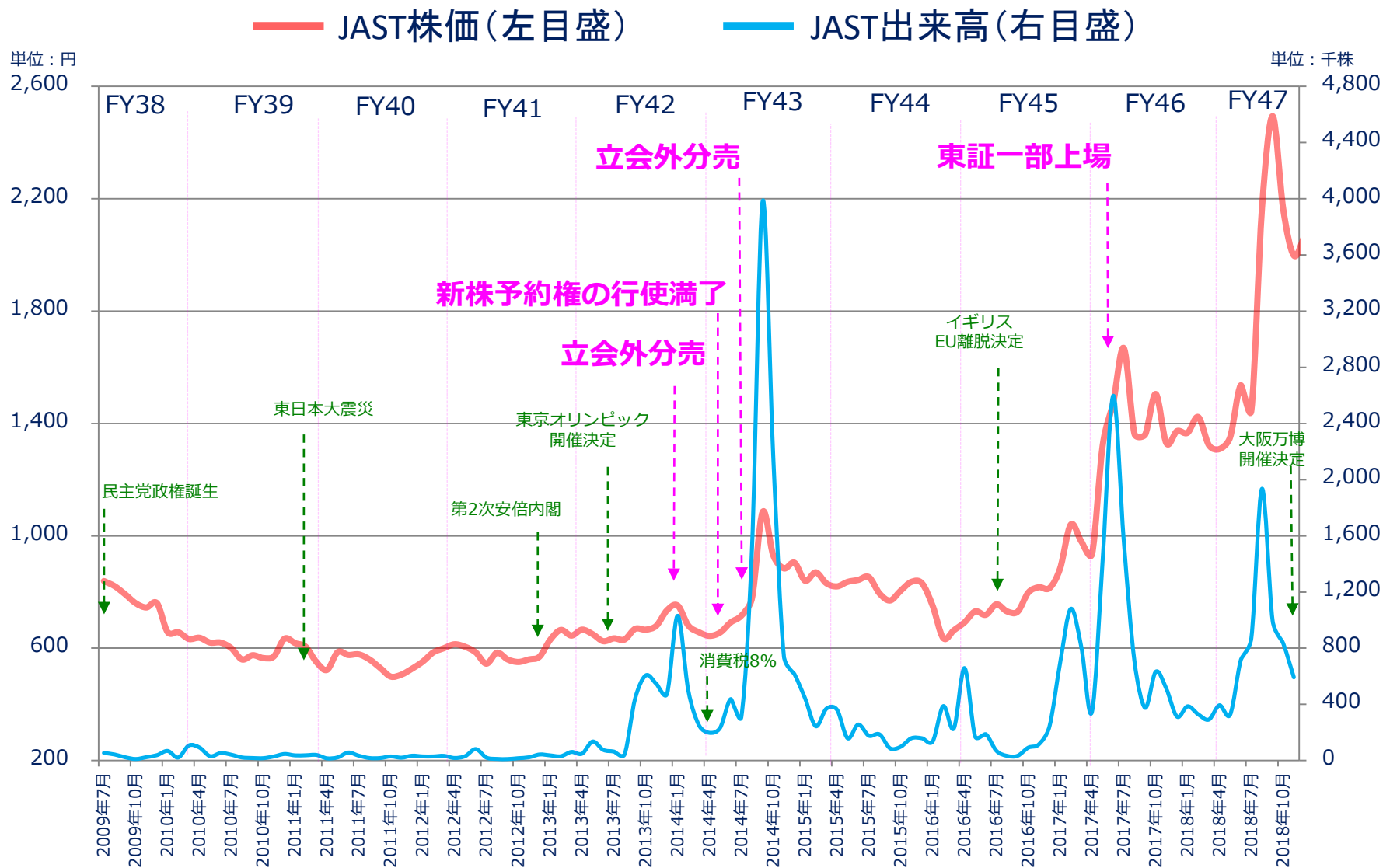
新ビジネスの
調査及び研究

2019年3月期2Q累計 研究開発費（実績） 231百万円

[参考] 2018年3月期2Q累計 研究開発費（実績） 196百万円

単位：百万円

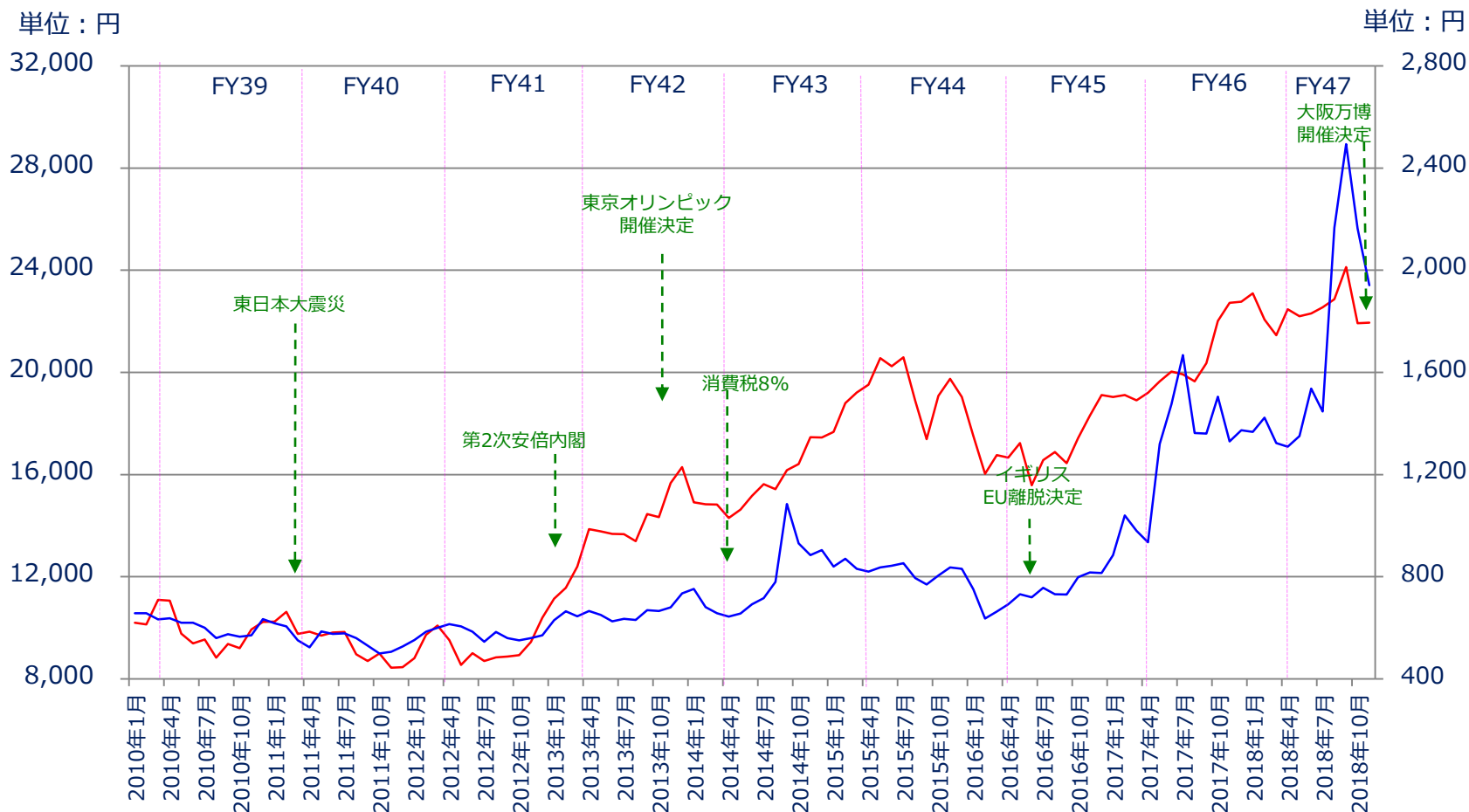
	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2018年 9月期	2018年 3月期比 増減
営業キャッシュ・フロー	393	▲204	▲12	132	642	1,385	+743
投資キャッシュ・フロー	▲13	▲281	119	494	147	▲1,508	▲1,655
財務キャッシュ・フロー	149	▲102	▲216	▲122	38	1,751	+1,713
現金及び現金同等物の期末残高	2,144	1,559	1,447	1,951	2,785	4,412	+1,627



4. 2019年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 8. 日経平均株価との相関

— 日経平均株価(左目盛) — JAST株価(右目盛)



株価 2,066円

EPS 111.47

PBR 1.75倍

PER 18.53倍

2018年12月3日終値

※2019年3月期通期予想値

5. 今後の計画・方針

5－1. 2019年3月期スローガン

5－9. J M I C S

5－2. 業績の予想

5－10. BankNeo

5－3. 業績達成のフィジビリティ分析

5－11. M&A、グローバル化

5－4. 受注残高と売上高の推移

5－12. 事業構成とアライアンス

5－5. 研究開発投資計画

5－13. 新領域開拓

5－6. 資本関連方針

5－14. その他の経営管理関連事項

5－7. 事業ポートフォリオの中長期構想

5－8. GAKUEN

Challenge & Speedで JASTビジョン2020を実現しよう

Japan System Techniques Co., Ltd.

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	前年比
売上高	(百万円)	14,223	15,630	15,765	100.9%
営業利益	(百万円)	571 4.0%	741 4.7%	865 5.5%	116.7%
経常利益	(百万円)	623 4.4%	785 5.0%	875 5.6%	111.5%
当期純利益	(百万円)	410 2.9%	579 3.7%	585 3.7%	101.0%
一株当たり当期純利益	(円)	78.26	110.36	111.47	101.0%

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 今後の計画・方針

5-3. 業績達成のフィジビリティ分析

単位：百万円

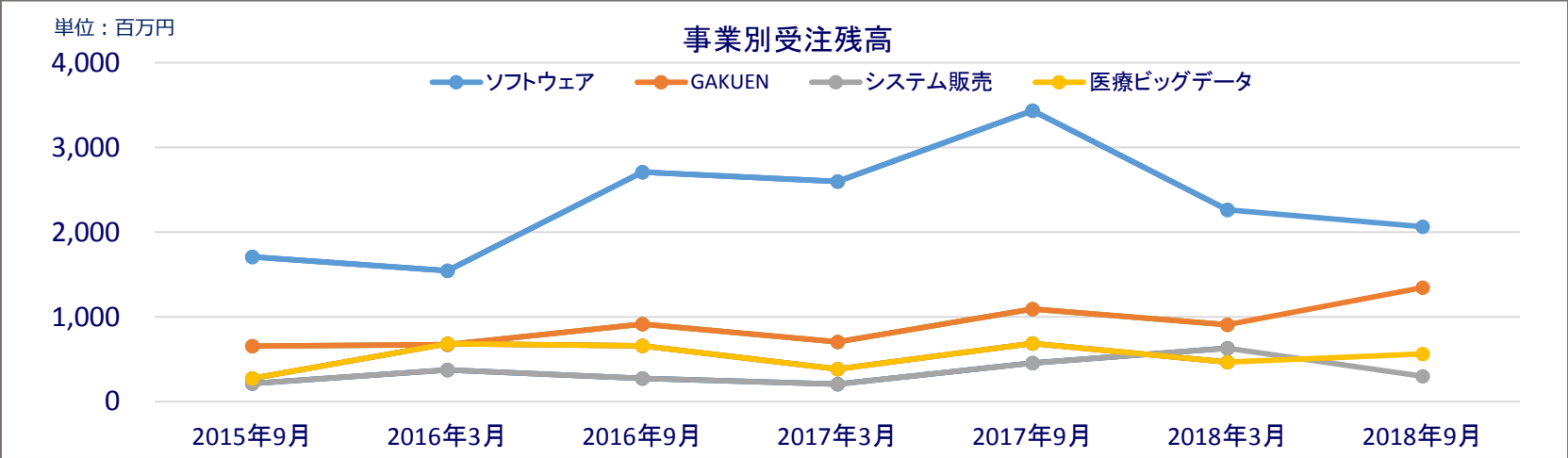
	2017年3月期 下期実績	2018年3月期 下期実績	2019年3月期 (通期予想-2Q累計)	前年比	
				金額	比率
売上高	7,996	8,645	7,740	-905	▲10%
営業利益	546 6.8%	648 7.5%	601 7.8%	-47	▲7%
経常利益	586 7.3%	666 7.7%	594 7.7%	-72	▲11%
当期純利益	402 5.0%	518 6.0%	412 5.3%	-106	▲20%

%数値は対売上高比率

項目	金額〔億円〕
〔A〕ソフトウェア事業の拡大と収益性向上	約 +0.3
〔B〕GAKUEN事業の増益	約 +2.0
〔C〕システム販売事業の減益	約 ▲1.2
〔D〕医療ビッグデータ事業の増益	約 +0.6
〔E〕その他販管費等（一般管理費増、新規事業推進等）	約 ▲2.2

5. 今後の計画・方針

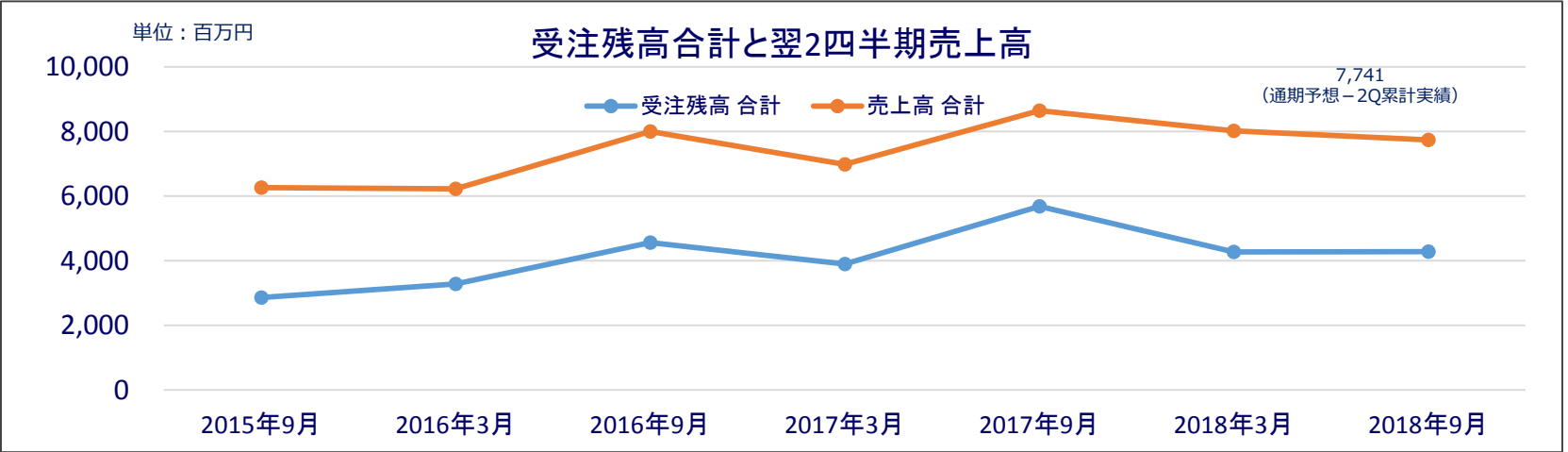
5 - 4. 受注残高と売上高の推移



事業別受注残高

事業/期	2015年9月	2016年3月	2016年9月	2017年3月	2017年9月	2018年3月	2018年9月
ソフトウェア	1,711	1,545	2,709	2,599	3,437	2,264	2,066
GAKUEN	656	674	917	705	1,095	909	1,346
システム販売	214	376	275	208	458	630	302
医療ビッグデータ	274	684	661	386	688	468	563
受注残高 合計	2,856	3,280	4,563	3,899	5,680	4,271	4,278

単位：百万円



研究開発投資の積極拡大を増収効果と収益性拡大で克服し増益実現

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
研究開発費の合計	269	346	332	458	
ソフトウェア事業	62	54	0	64	
GAKUEN事業	206	239	286	274	
医療ビッグデータ事業	0	52	45	98	
その他	0	0	0	20	

BankNeo
次世代製品、
機能強化

GAKUEN
新製品・サービス、
中国展開

JMICS
性能強化・向上、
サービス拡大

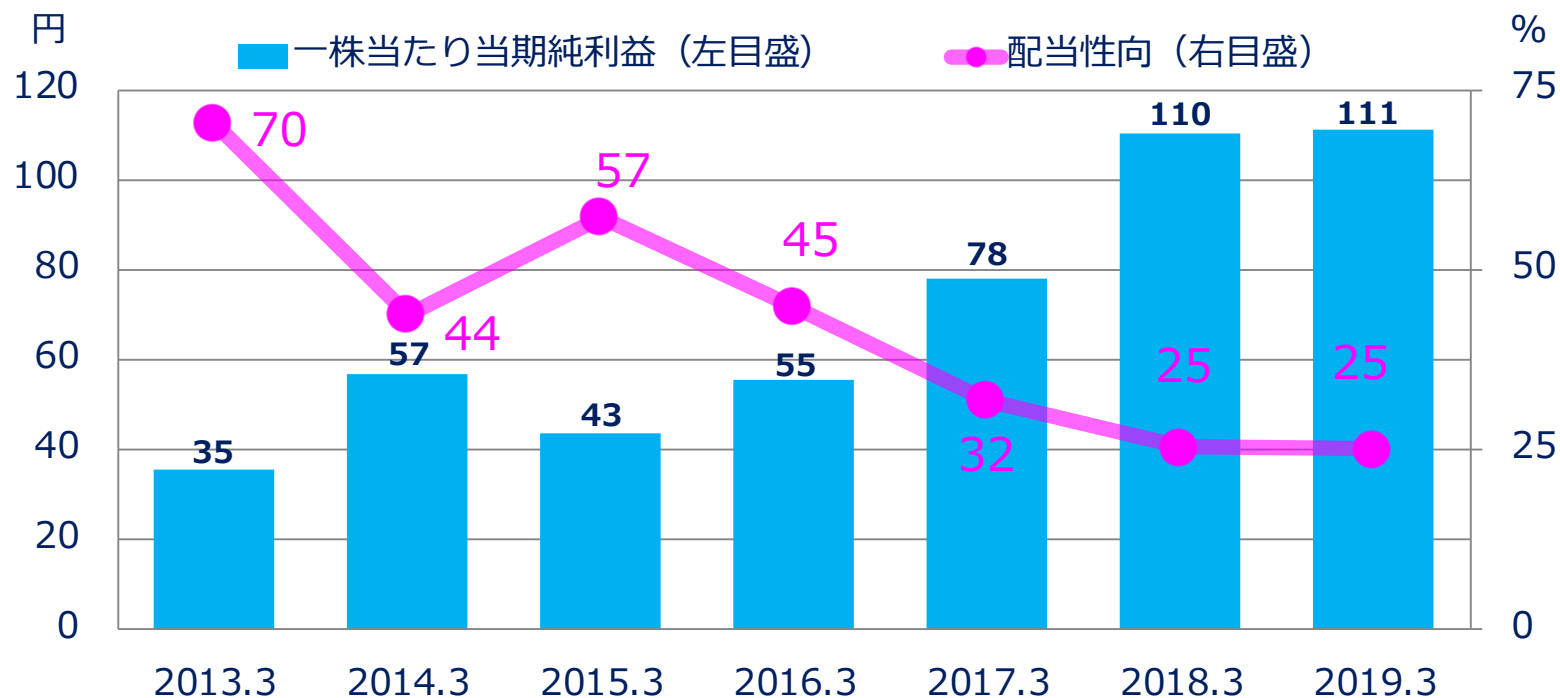
新規事業・技術
新事業・先端技術の
開発・研究

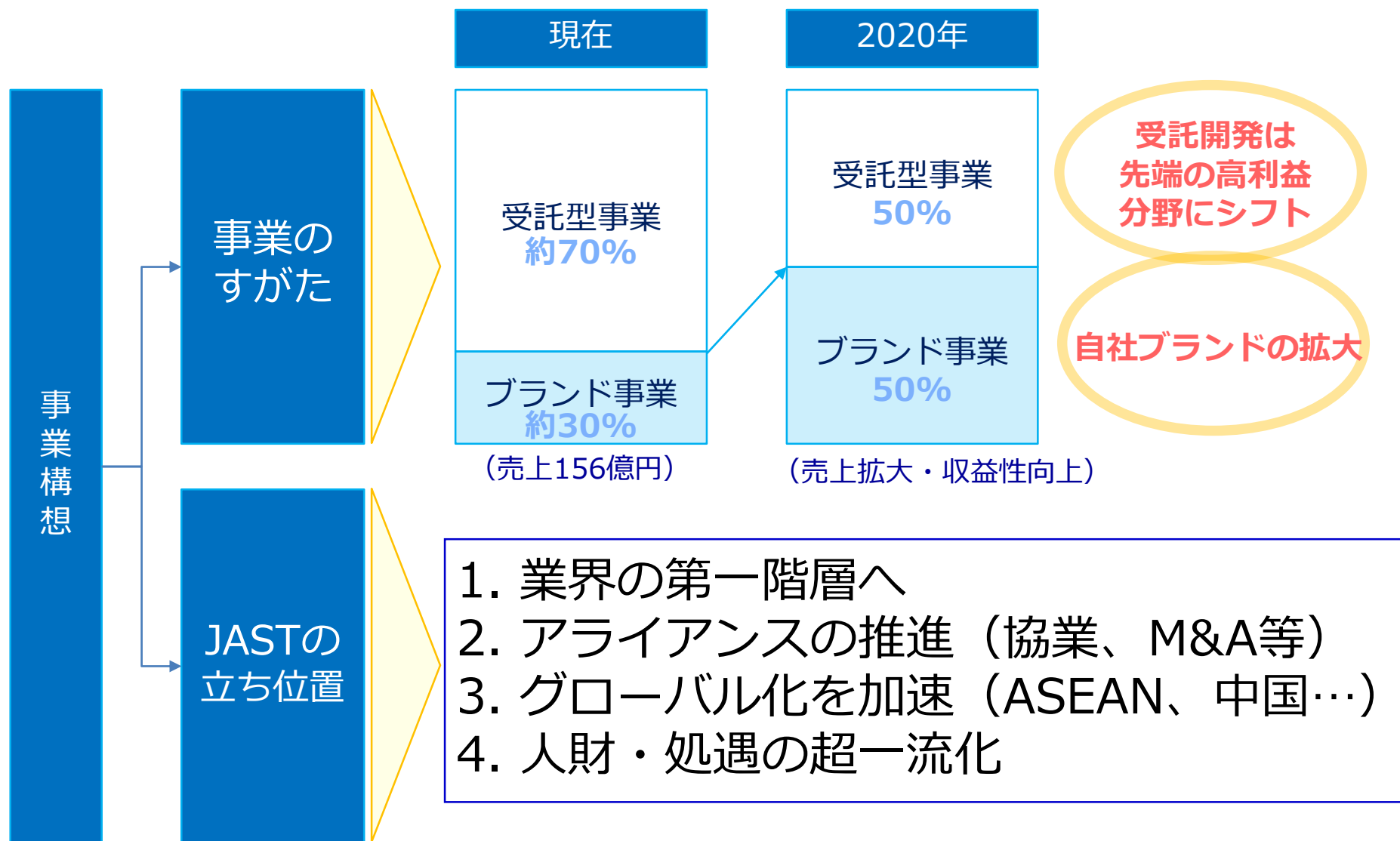
矢印の角度は増加率イメージ

5. 今後の計画・方針

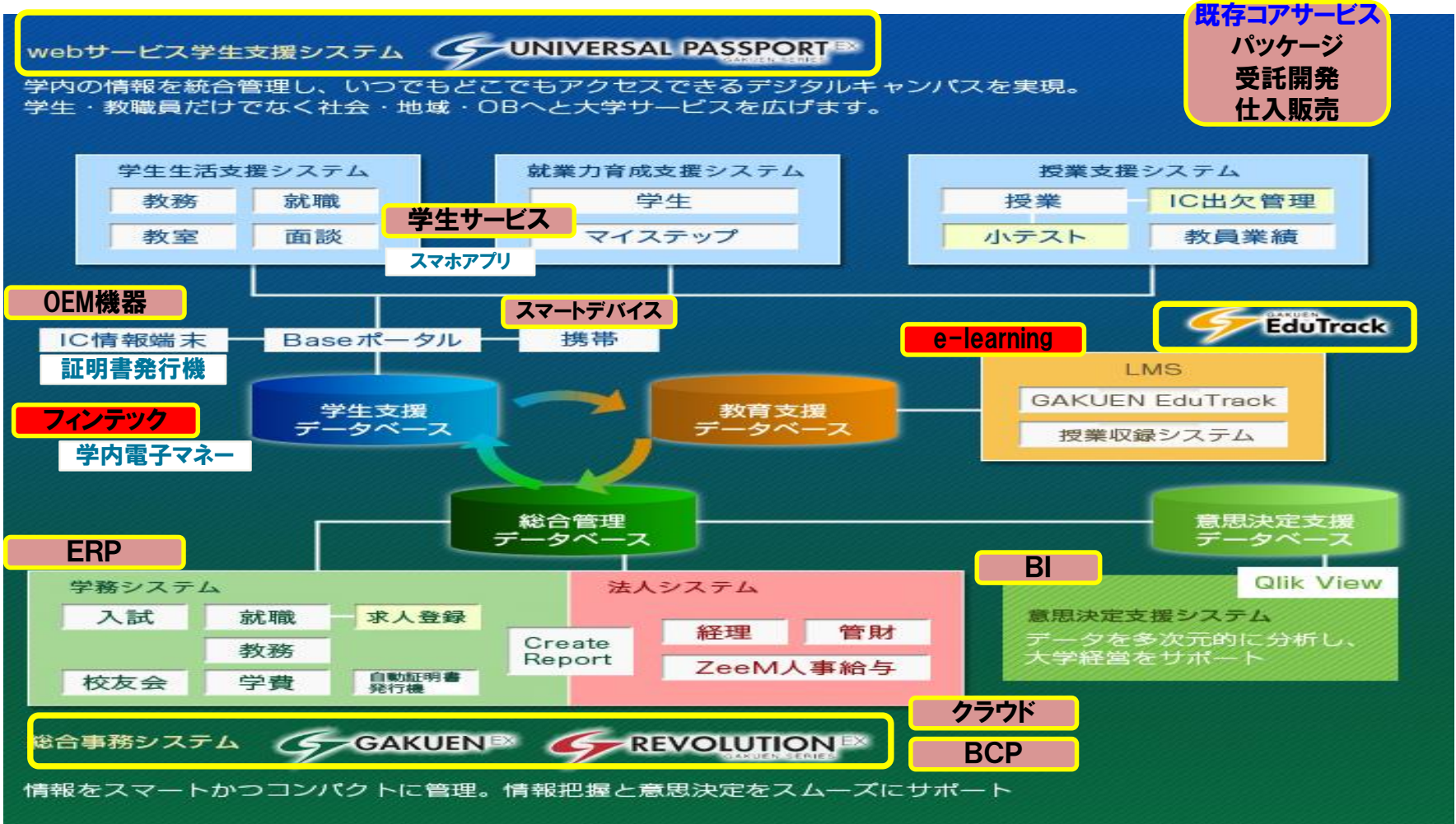
5－6. 資本関連方針

		2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期 (予定)
1株配当金	円	25	25	28	28
期末配当利回り	%	3.8	2.6	2.1	－
期末株主数	人	2,805	2,667	2,584	－
期末時価総額	百万円	3,727	5,500	7,425	－





★現行サービス図



★成長戦略

- ★グローバル展開：中国版収益化、ASEANへ事業拡大
- ★次世代RX製品の追加リリース
- ★AI関連商材の開発

➡ 常に先を行く戦術展開で
文教ITの圧倒的リーダーとなる

5. 今後の計画・方針

5 - 8. GAKUEN②（新製品のコンセプト）



Webポータルシステムが新しく生まれ変わりました

UNIVERSAL PASSPORT RX

Webポータルシステムの最高峰、学生支援から教育支援へ進化

LMS 学修支援システム

PLATFORM 総合事務 システム
Web サービス学生支援システム

IR 意思決定支援システム



◆ Webポータルシステム

多彩な学生サービス／教務サービス機能／ポートフォリオ／授業開始等プッシュ通知

◆ LMS

アクティブラーニング／スマートフォンやタブレットを活用したeラーニング／遠隔授業・授業収録・授業のWeb配信

◆ 電子マネー

学内電子マネーで決済やポイントサービスを実現

◆ IRソリューション（BIツール）

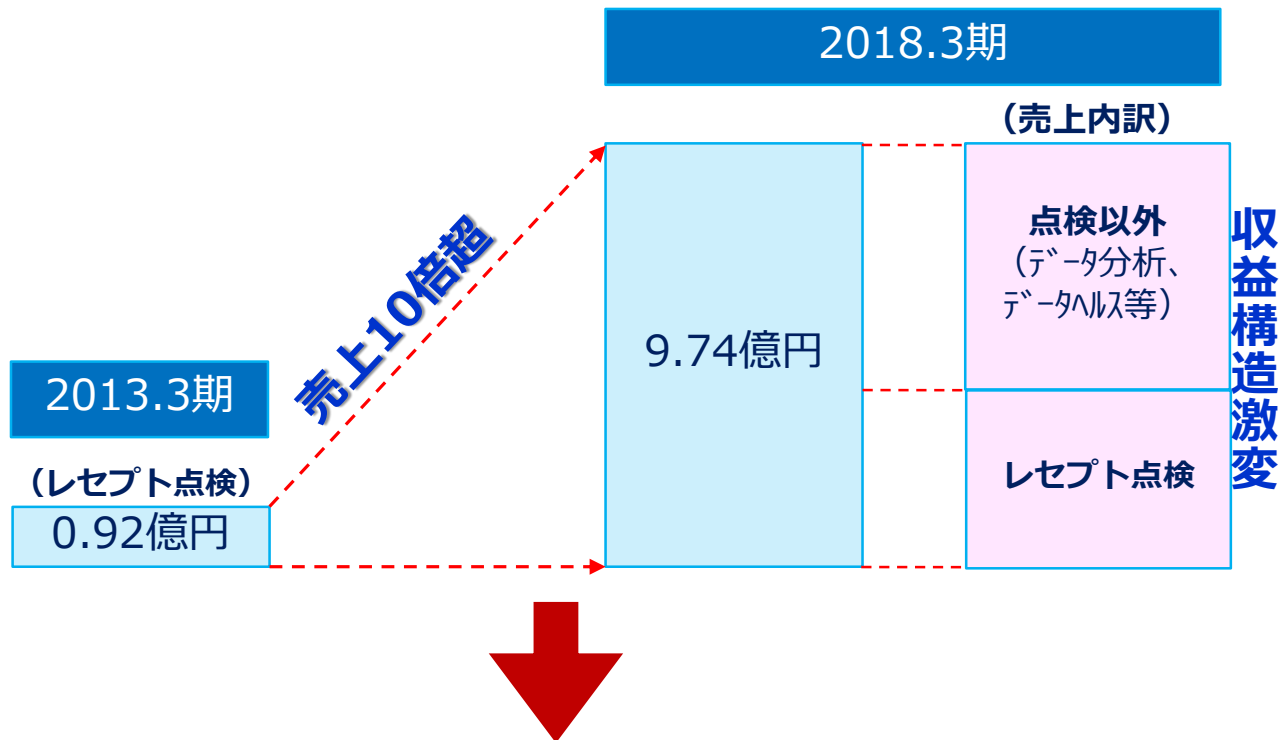
大学向け分析機能を充実、IR部門の作業効率向上

◆ グローバル機能

2カ国語対応を標準搭載

★現状：

- ◆月間レセプト処理数約1,000万枚/総契約先数100超
- ◆レセプト点検→ビッグデータとICTの融合による医療情報ソリューションに進化



★戦略：国策の追い風と規模・技術優位性を活かしさらに領域拡大

- ◆利活用ビジネスの新領域拡大：医療費適正化、データヘルス、API連携強化
- ◆産・学との連携拡大：アカデミア・他企業との協業による先鋭的分析・利活用サービス
- ◆AI、ディープラーニング関連テクノロジーの組み込み

BankNeo

FAST SOLUTION FOR BANKING

CRM
SFA

融資
支援

経営
管理

相続

預り
管理

ポータル モバイル連携機能
地図連携機能 顧客サイト
フロントコンプライアンス

貸出審査
格付審査
債権管理

保安全管理
自己査定
回覧ワークフロー

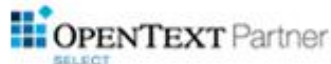
経営分析 手数料・事務量
原価計算 日計
個社別取引採算管理

手続き支援 案件進捗管理
相続税シミュレーション
顧客情報の一元管理

預り/返却業務
預り物のチェック
期日管理



導入実績：2018年11月22日現在



1. Virtual Calibreの特長、強み

- 1) 国営エネルギー会社等のマレーシア国内大手を主要クライアントに持つ。
- 2) ニーズにフィットしたSAPエンジニア部隊を編成しサービス提供することに長けている。
- 3) 手堅い収益モデルで高利益体質を堅持。
- 4) JASTと理念面で酷似し、在ASEAN企業としては経営陣や社員間の結束が固い。

2. 狙い

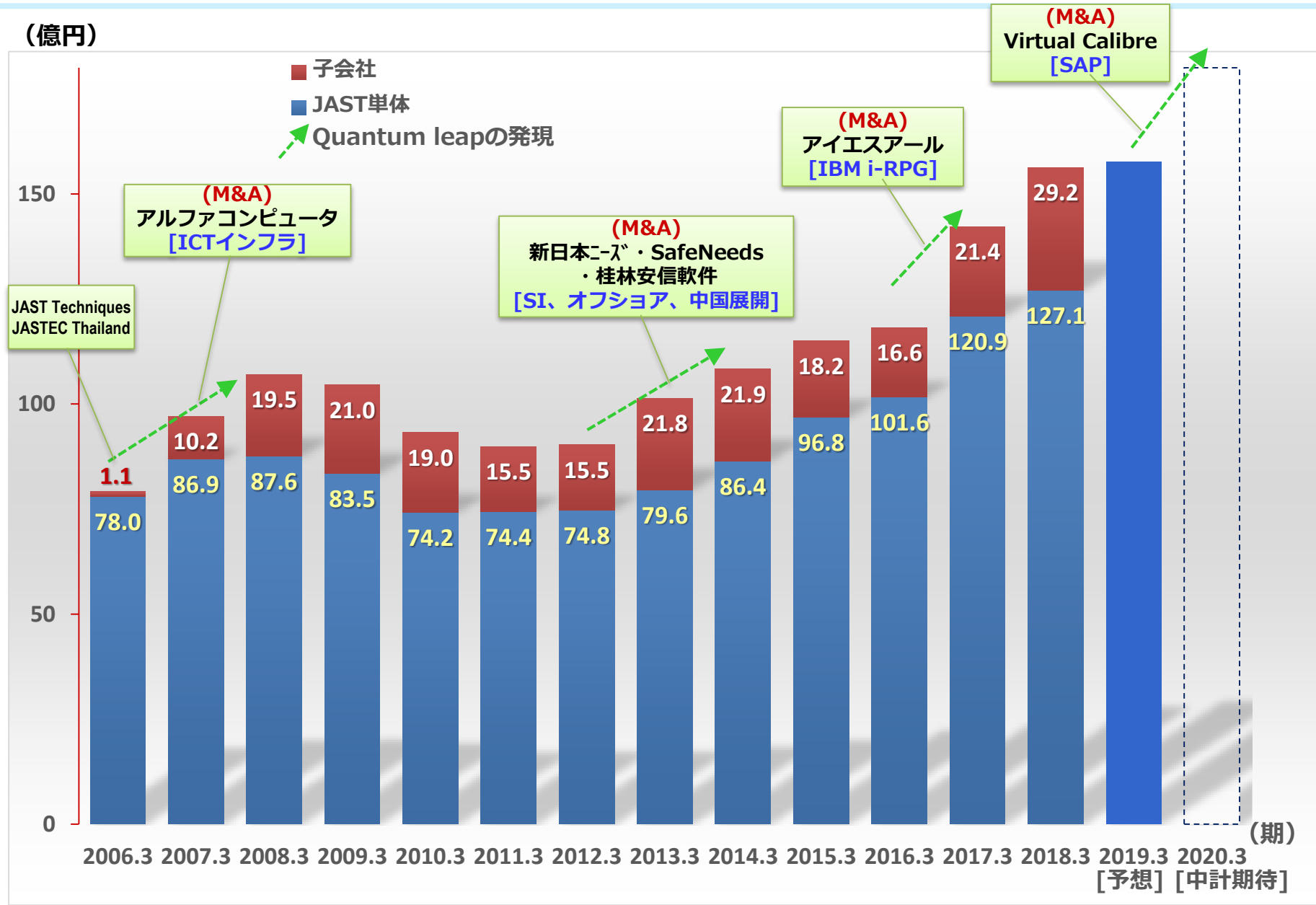
- 1) 世界最大かつ最高シェアの総合業務アプリSAP市場への進出。
- 2) ASEANの新拠点確保及び既存ASEAN子会社とのシナジーによるグローバル事業拡大。
- 3) [中長期]ブランド商材の現地での拡大。
- 4) [中長期]ASEAN以遠へのグローバル展開。

3. SAPの現状と展望

- 1) 2018年8月現在の世界導入概算実績190カ国40万社。Forbes Global 2000の90%で導入。
- 2) 次世代インメモリ/クラウドシステムS4/Hanaへの中長期的シフト、2025年問題等、超長期的に世界市場を席卷しSAP技術者の需要が高まるトレンドは不変、マレーシア国内も同様の状況は続く。
- 3) 日本でも大手各社が基幹業務等のSAPへの傾注を相次いで発表。

5. 今後の計画・方針

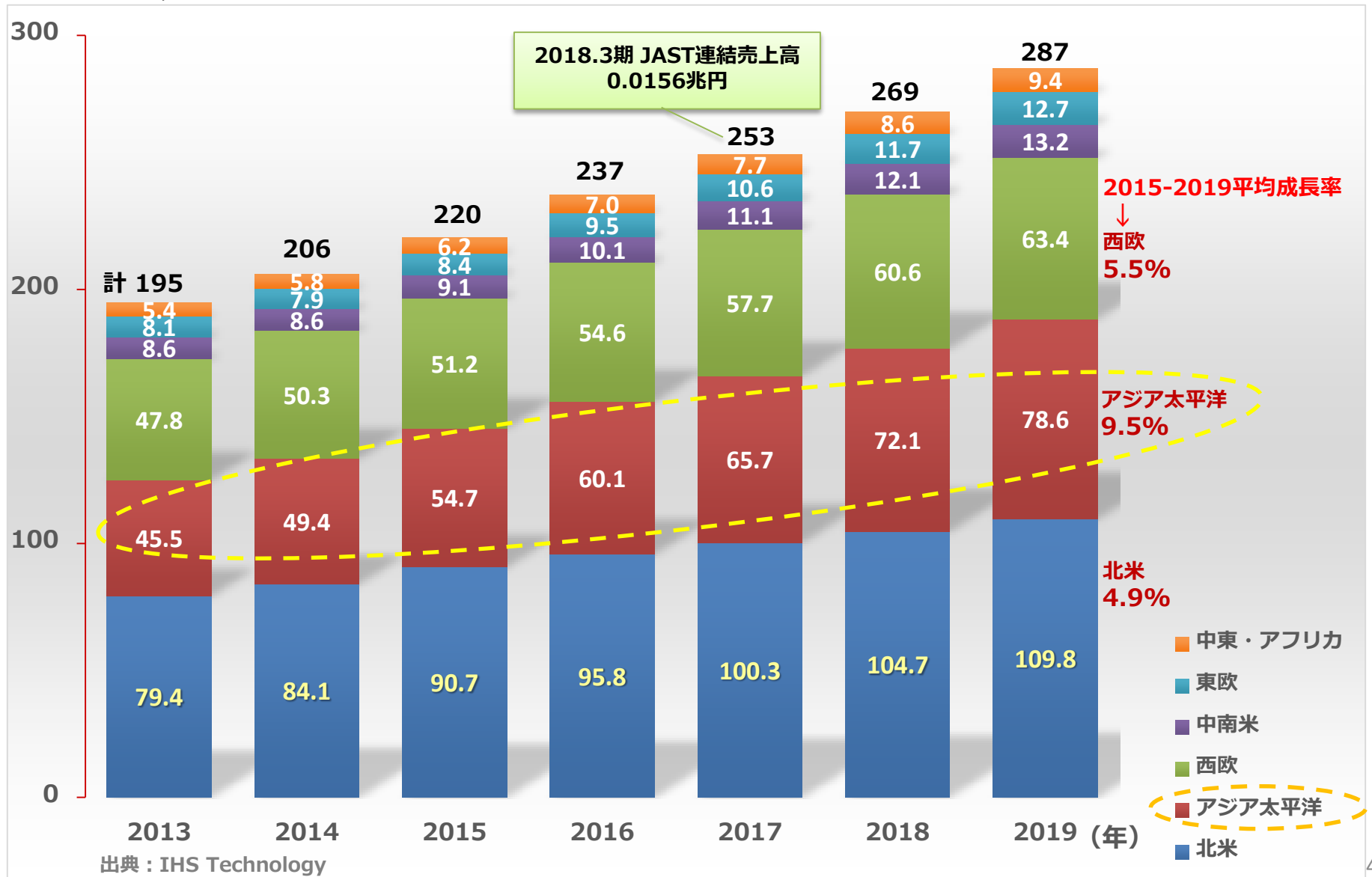
5-1 1. M&A、グローバル化②（売上推移）



5. 今後の計画・方針

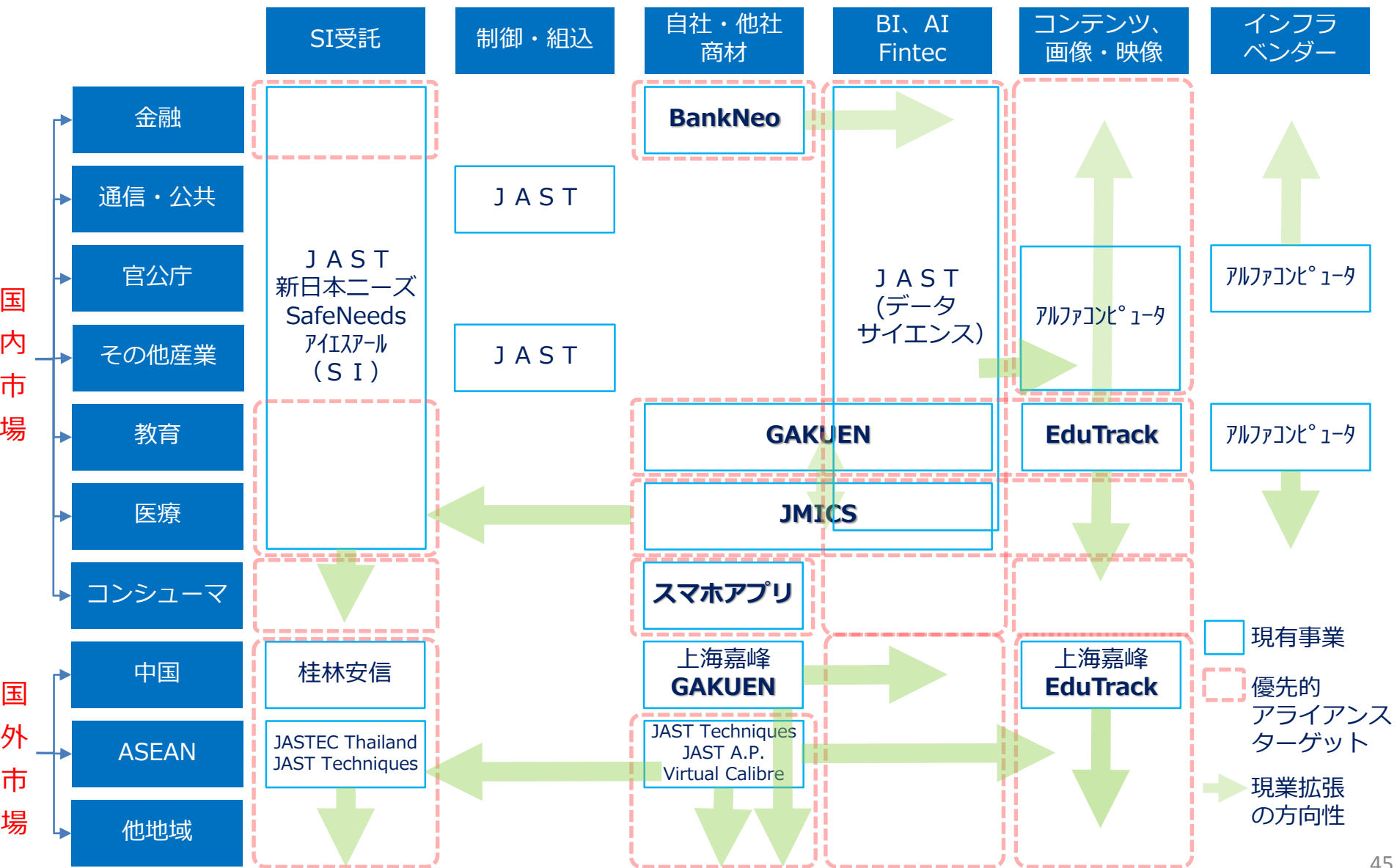
5-1 1. M&A、グローバル化③（世界のICT市場規模）

（兆円） 1US\$=¥110換算



5. 今後の計画・方針

5-12. 事業構成とアライアンス



5. 今後の計画・方針

5-13. 新領域への適応

	ビッグデータ	IoT、 コンテンツ	フィンテック	AI、ディープ ラーニング	グローバル
ソフトウェア 事業	✓ データサイエンス案件の拡大	✓ モバイルデバイス対応増加 ✓ 4D Replay	✓ 金融系SI案件での拡大	データサイエンス案件へのAI機能実装	✓ SAP ✓ オフショア拡大
GAKUEN (GAKUEN 事業)	✓ 大学経営意思決定支援 (BI) ✓ IR	✓ e-ラーニングシステム「EduTrack」 ✓ UNIPAアプリ	✓ 学内電子マネー ✓ UNIPA Pay 決裁機能の拡大	パッケージへのAI機能実装	✓ 中国市場拡大 ✓ 複数言語対応 ASEAN展開
JMICS (医療ビッグ データ事業)	✓ 月間レプト処理数1000万枚 ✓ データ利活用サービス拡大	個人向けサービス		✓ アカデミア連携 レプト処理のAI化	ASEAN地域のデータ利活用
BankNeo (ソフトウェア 事業)	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」 拡販	✓ CRM活用 クラウドサービス		一部コンポーネントへのAI機能の実装	
システム販売 事業	✓ 各種分析サービス拡大	✓ デジタルサイン			

凡例： ✓ 現業領域と施策

進出構想領域

JASTブランド

C G C各原則への対応状況（主なもの）

- ★社外役員：社外取締役2名／取締役総数7名、社外監査役2名／監査役総数3名。
人材の「持合い」や「形式的充足」はしない。
- ★関連当事者取引等：原則行わない。
発生した場合も通常外部取引と全く同様の審査承認プロセスを辿る。
- ★政策保有株式：基本理念である完全独立系の堅持、が根本前提。

会計統制

- ★連結・単体とも決算機能は大阪本社で集中管理。収益責任部門からの独立性を保持。
- ★内部監査、監査法人監査、J-soxで統制を補完・強化。
- ★有資格者の育成による業務精度向上。

過重労働抑止対策の状況

- ★今期4～10月累計月間平均残業約12時間。
- ★36協定超過及び長時間私事在館撲滅。
- ★有給休暇取得率向上への取り組み（取得奨励日、メモリアル休暇）。

不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。